

日黒箱門会会報



(題字:眞仁田 勉 初代会長)

第80号 2018年9月

発行人:後藤 克彦 編集長:猪名川 一雄 事務局長:金井 豊男
事務局:〒153-0053 目黒区五本木2-22-6 Tel 03-3713-1684

第19回定時総会を開催

2018年7月15日(日)、ホテル雅叙園東京で第19回定時総会が開催されました。

当日は早稲田大学から畠恵子理事および福井健介地域コーディネーターにご出席頂きました。出席者総数70名。



畠理事



福井コーディネーター

次に、今回の総会をもって任期満了となる吉田会長から、新たな会長を選出するにあたり、会長推挙委員会による選出の過程と、これまでの経緯が説明されました。そして、品格、人望に優れ、大学との密な関係を構築する後藤克彦氏(昭和42年 文)が新会長に推挙することが発表され、満場一致で承認されました。続いて(6)30年度役員人事(案)が提案され、こちらも異議なく承認されました。



新旧会長の握手

すべての議事が終了した後、後藤新会長の挨拶(別掲)、続いて来賓の畠理事より挨拶がありました。畠理事の挨拶を通じて、先般行われた早稲田大学総長選挙について説明がありました。総長選挙では、民主主義に則って強化された選挙制度の下、田中愛治氏(政治経済学術院教授)が決選投票の末当選を果たし、2018年11月より同氏が第17代総長となる予定です。また、英国のQS社が発行する世界大学ランキングで早稲田大学の研究力、総合性が高く評価されたこと、ダイバーシティ推進など、母校のトピックを合わせてお知らせ頂きました。

休憩をはさんで、来賓の福井地域コーディネーターより挨拶があり、続いて後藤新会長の発声で乾杯、歓談となりました。





その後、新入会員の小宮山寿美子会員が壇上にて紹介されました。

＜後藤新会長挨拶＞



招待現役学生4名の紹介では、まず、北島佳奈さん（人科3年）、吉井幸さん（人科2年）が紹介され、所沢キャンパス祭の実行委員として、学園祭の紹介と挨拶を行いました。また、国際学生寮WISHからは新年会に続き2度目の参加となる田村大樹さん（商2年）、初参加の平澤良樹さん（社学1年）が挨拶しました。



懇親会のアトラクションでは、現役学生の早稲田大学弦楽合奏団“律ゾリストン”メンバーの皆さん登場。見事な演奏を披露し、目黒稻門会新体制の門出にふさわしい華やかな空間を演出してくれました。



しばらくの歓談に続き、金井豊男事務局長からボランティア部会の募金への一層の協力をお願いしました。

盛会の中、松田哲也会員の指揮で校歌を斉唱。最後は大竹一子副会長の中締めでお開きとなりました。

この度、吉田会長の後を受けまして第六代会長に就任することになりました。歴代の会長が掲げられておりました目黒稻門会のスローガン「楽しく、明るく、元気よく」を受け継ぎ、より深く、より広く浸透できますように会員の皆様と一緒に進めて行きたいと思っています。

部会も13に増えております。また家族会員制度もでき、より多くの参加が期待されるようになりました。今まで、部会によっては他の地域稻門会の方、ライバル校である大学卒業の方も「楽しい、魅力ある」ところには参加されております。会員の皆様お一人、お一人がアイデアを持ちより今までよりもう少しだけ関係を強くして頂いて、魅力あふれる目黒稻門会にして行きたいと思っております。

また、大学との関係も大学でのイベント等にも積極的に参加し、大学からも頼れる目黒稻門会になるように努力してまいりたいと思っております。

皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。





総会出席者(敬称略、五十音順)

(来賓)

畠 恵子・早稲田大学理事
福井健司・早稲田大学地域コーディネーター(芸術学校事務長)

(招待現役学生)

北島佳奈(人間科学部3年)、
吉井 幸(人間科学部2年)、
田村大樹(商学部2年)、
平澤良樹(社会科学部1年)

(会員・ご家族)

朝比奈義雄、浅海敏之、荒瀬修一郎、安藤 孝、
安藤虎雄、安藤嘉昭、石川智子、市瀬一江、
市瀬達夫、伊藤 悠、猪名川一雄、井村正陽、
岩崎春雄、岩崎正夫、鶴野洋治、海口昭治、
大内秀明、大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、
奥村忠男、笠谷興一朗、梶 恵作、加藤玲子、
金井豊男、狩野俊夫、川井信義、河村晋彦、
木村昭一、郡山弘文、郡山富子、後藤克彦、
後藤真由美、小宮山寿美子、佐伯文子、
佐久間 喬、瀧谷瑠璃、島田久家、高橋圭吾、
高橋真美子、田島順一郎、田畑 繁、地田博昌、
手塚仁雄、外岡 明、永井正孝、中上美代子、
永田耕治、服部尚彦、林田雅敏、牧野武夫、
松田哲也、眞仁田 勉、宮村直身、村上 栄、
村山 弘、保井 正、山内 宏、吉田博行、
吉田千代、吉野博明、吉本政治、吉本美恵、
米田文彦

各部会からの案内・報告

美術・歴史鑑賞部会

第72回は5月16日(水)東京国立近代美術館に10時集合(参加者8名)で『横山大観一生誕150年展』を鑑賞しました。横山大観(1868 - 1958)の生誕150年、没60年を記念しての回顧展で岡倉天心の指導のもとに、新しい時代の絵画に取り組み、今までの日本画を変えていった「迷児」、「山路」、「群青富士」、「焚火」、「夕顔」、「野の花」等の名画を鑑賞しました。

鑑賞後、毎日新聞東京本社地下のカレー屋さんで昼食をとりました。

第73回は6月13日(水)東京都美術館に10時集合(参加者13名)で『ブーシキン美術館展』を鑑賞しました。フランス絵画コレクションで知られるモスクワのブーシキン美術館から、17世紀から20世紀の風景画65点が来日。クロード・ロラン「エウロペの略奪」クロード・モネ「草上の昼食」、「白い睡蓮」、ピエール＝オーギュスト・ルノワール「庭にて、ムーラン・ド・ラ・ギャレットの木陰」、アンリ・ルソー「馬を襲うジャガー」等、巨匠達の描いた美しい風景画を鑑賞しました。



鑑賞後、上野公園内にある旦妃樓飯店でランチコースを食べました。

第74回は9月19日(水)横浜美術館で『モネ それからの100年』を鑑賞予定です。

7月から部会長が交代し、永井正孝が新部会長に就任しました。引き続き皆様のご参加をお待ちしております。 美術・歴史鑑賞部会長 永井正孝
さん月会

毎月第3月曜日、「やるき茶屋」自由が丘店で開催。開催店は、昨年8月都立大学店から自由が丘店へ移って1年になります。直近3ヶ月の参加者は、平均15名です。会員の皆さん は、「飲んで食べ、気楽に話し合える」さん月会へ是非ご参加下さい。

さん月会部会長 岩崎春雄

囲碁部会

第18回オール早稲田開碁祭が平成30年6月2日(土)に160名の参加をえて日本棋院市ヶ谷本院で開催された。目黒からは2チーム10名が参加した。

目黒A 六段大久保健治 三段保井 正 二段鷲崎利郎 初段鶴野洋治 初段小倉利允

目黒B 二段永田耕治 二級菊地崇之 三級梶恵作 三級狩野俊夫 六級市川亘

手駒の少ない目黒稲門会囲碁部会の総力をかけた参加でした。囲碁人口の減少に悩む中、実行委員会からは称賛されました。

そして目黒AはCクラス2で優勝をしました。1回戦佐倉を3勝2敗、2回戦豊島を4勝1敗、三回戦大田を3勝2敗で勝ち切り2年連続の優勝を成し遂げました。鶴野氏と小倉氏が3戦全勝し、主将の大久保氏が難敵の大田区の主将を下しての快挙でした。



囲碁部会長 保井 正

カラオケ部会

5月11日(金)に開かれた部会に参加した人の数は13人、6月8日(金)の部会に来た人は9人、そして7月13日(金)の部会の参加人数は、休み前であった為か僅か7人でした。

部会長の私個人の事を一言申し上げるのをお許下さい。中学の音楽の先生はバス、バリトンそしてテノールの声が出て、しかも声量が皆んなの倍あるのにビックリされ、将来は是非とも音大に行ってオペラ歌手になるよう、強く勧められました。プロの歌手になれる人は限られているのは判っていましたので、取り敢えず高校と大学では合唱部に入り、好きな音楽を楽しむ事に留めました。今は高い声はスッカリ出なくなり、男性歌手の歌は全て、低音の魅力のフランク永井の歌でも二音下げないと思うように唄えません。女性の歌手の歌ならそのまま歌えるのは何故なのか判りません。

カラオケ部会長 奥村忠男

ウォーキング部会

今年の夏は異常なぐらい暑い日が続いていましたが皆様、健康に過ごされたでしょうか。これからも健康に注意して楽しく歩きましょう。

特に初参加者、女性は大歓迎です。

実施報告

6月例会 平林寺 野火止用水を歩く

日時 6月19日(火)参加 9名

7月例会 三崎 小網代の森を歩く

日時 7月17日(火)参加12名

今後の予定(小雨決行)

9月例会 羽村取水堰と多摩川を歩く

日時 9月18日(火)午後1時

集合場所 JR青梅線羽村駅改札外

10月例会 武藏野三十三観音めぐり 第6回

日時 10月16日(火)午後1時

集合場所 西武池袋線東飯能駅改札外

11月例会 津久井宝が峰と遺跡

日時 11月20日(火)午後1時

集合場所 JR横浜線橋本駅改札外

参加される方は下記まで連絡下さい。

牧野携帯 090-9649-6868

ご希望の場所があれば御一報下さい。参考にさせて頂きます。

ウォーキング部会長 牧野武夫

麻雀部会

1 第73回麻雀大会は6月11日武蔵小山 サンにて12名参加し開催されました、優勝本田氏、準優勝千野氏、3位大内氏でした

2 年内の大会はサンにて8月20日、10月15日、12月17日各月曜日12時30分開催です。奮ってご参加ください。なお12月は大会に引きつづき忘年会あります。

麻雀部会長 鶴野洋治

ボランティア部会

2011年7月に創設された本部会も満7年となり、目黒区サクラ基金、「NPO法人世界の子供にワクチンを日本委員会」に対する寄付および災害義援金として累計100万円を超みました。

これはひとえに会員各位のご理解・ご協力のたまものであり、今後とも本活動へのご支援をよろしくお願ひいたします。

ボランティア部会長 小杉 哲

早稲田スポーツ観戦部会

6月2日（土）の六大学野球春季リーグ戦早慶一回戦は、小島の好投にも関わらず打線が応えられず惜しくも1対3で慶應に敗れました。

6月3日（日）の第二戦は17名の会員と家族が応援しました。負ければ5位に転落、そして慶應の完全優勝が決まる大一番の試合でした。小島がまさかの連投、7回まで毎回安打を浴びながらも要所で押さえ、見事に6回まで零封。一方、打線は3回に吉澤の左翼ソロ本塁打で先制したのを皮切りに7回までに大量9得点を挙げ、7回より今西、徳山が継投、無失点で締め、大差を保ったまま試合終了。誰もが今春季リーグ戦も昨年の秋季リーグ戦に続いて不甲斐ない成績で終わるのではとの不安を一掃してくれた試合でした。やれば出来る！

試合後の祝勝会も母校の快勝で大変盛り上がりました。同店で反省会を行っていた三田会の数人が我々の所に殴り込み（挨拶）にきて第三戦の慶應勝利を嘆願して帰りましたが全員そうはいかないぞという想いでした。6月4日（月）の延長11回1対0の早稲田勝利のニュースを聞いて嬉しさは倍増しました。



東京も梅雨入りした6月10日第一日曜日、両国国技館で行われた第97回東日本学生選手権大会を会員と家族9名で応援観戦に行きました。

スポーツ観戦部会としては初めての企画でしたが石川智子会員の年次稻門会のメンバーが早大相撲部監督と言う縁で11時30分に両国駅に集合し、お弁当を食べながらの応援観戦でした。

団体戦はAクラス8校、Bクラス8校、Cクラス6校の参加で、早稲田大学はAクラスの予選リーグに出場、1回戦は東京農業大学に1対4で敗戦、2回戦は日本大学に1対4で敗戦、3回戦は明治大学に2対3で敗戦と全戦績0勝3敗で残念ながら8クラス優秀8校決勝トーナメントには進出できませんでした。

両国国技館での大学相撲観戦は土俵上の迫力、東

日本大学相撲の全容を知り、早稲田大学相撲部がAクラスにいることを始めて知り、良い経験だったと感じました。

恒例の反省会は時間も早いこともあり5人で駅近くの居酒屋で寂しく一杯飲んで帰りました。



早稲田スポーツ観戦部会長 狩野俊夫
俳句部会

第108回 萩句会報告

日時 2018年7月9日（月）14時～17時

（順不同）

川井素山	夕凪や網ぬふ漁夫の鼻眼鏡
保井寶正	枝豆や忖度いらぬ塩加減
青木英林	夕凪や浜に鴎の微動だに
佐久間喬	木漏れ日に預ける心ハンモック
後藤克彦	トタン屋根雨打つ音や半夏生
丸山醉宵子	黒潮に乗った鰯は塩で喰ふ
菊地崇之	雨期急過ぬ街に見掛けぬ散水車
佐伯兵庫	行水の形で流す狭ひ庭
吉田啓悟	ひとすじの光さし込む風炉手前
佐久間たか子	日の盛りむなしく響く信号音
山本草風	行水や白き背中に星点る
渡辺鯨波	行水の子にほんのりと手術痕
瀧谷瑠璃	走馬灯何回転の命かな
永井正孝	シャワー浴び試合の流れ噛み締める
原 晶如	持ち帰る四万六千日の夕日
青葉ひかる	レマン湖とブドウ畑とレモン水

今月の一句

持ち帰る四万六千日の夕日

浅草寺の四万六千日の縁日には、ほおづき市がたつ。
お詣りの後、ほおづきを求める。赤いほおづきを
夕日にかけて持ち帰ると詠んでいる。
直すところのない句である。

俳句部会長 佐久間 喬

会員の広場

スコッチに魅せられて

高橋圭吾（平成01年 理工）



率のいいプログラムを書くことが要求されました。ちょうど、IBMのホストコンピュータからUNIXワークステーションやパソコンが普及し始めた頃です。

私は、卒業して研究室のOBに誘われて日立情報システムズに就職しました。当時は、日立はホストコンピュータが稼ぎ頭でした。時代の流れで、2050というUNIXワークステーションやB16といったパソコンも製造、販売していました。私は、主にこの2050やB16をネットワークにつなげて、営業部門向けの販売管理システムのデモプログラムを書いていました。当時は、C言語でプログラミングしていました。今の時代のようにオープンソースのライブラリーなどあまりないので、画面や業務プロセスもいちいち手作りで、結構苦労しました。また、データショーにも出品して、ナレーターのコンパニオンとも仲良くなれました。

その後、私は、UNIXワークステーションの魅力に惹かれて、サン・マイクロシステムズという会社に転職しました。当時のシリコンバレーの新興コンピューターメーカーです。非常にプログラマーには魅力のあるコンピュータを作っていました。ネットワークにつなげて、アプリケーションの開発ツールは先端をいっていました。わからないことを質問すると、翌日には世界中のサンの社員から回答がきて、とてもグローバルな会社でした。今は、オラクルに買収されてしまいましたが、いまでも毎年、サンの元社員で集まっています。

サンにいた時に為替のディーリングシステムを開発

するプロジェクトに参加しました。この時、金融に興味をもち、金融とITという組み合わせで世の中はもっと便利になっていく予感をしました。

そこで、1993年にゴールドマン・サックス証券に転職しました。IT部門で主にファイナンスの会計システムやトレーダーの損益管理をするシステムの開発を担当しました。90年代は、日本の金融機関はバブルの後始末で大変でしたが、外資の投資銀行は日本のマーケットに参入して、収益機会を狙い、業務拡大する時期でした。ゴールドマンの日本法人は私が入社した93年は全社で400人くらいでした。IT部門も50人くらいで、全員の顔と名前もわかる感じでした。

その後、海外で働く機会があれば、行きたいと上司に話したところ、ゴールドマンのロンドンオフィスで30人くらいのチームリーダーのポジションが空いてるところで、ロンドンに転勤しました。ちょうど1999年の頃です。この時、ヨーロッパでは自己資本規制が変わる頃で、CADIIという金融機関の新たな自己資本規制の法改正がありました。要は、マーケットリスクや取引先リスクを厳格に管理して、十分な資本を積むことが要求されました。この自己資本規制に対応するシステム開発のプロジェクトをまかされました。スタッフやユーザが全て外人で、商品もヨーロッパ株、債券、デリバティブ、と多岐に渡り、結構苦労しました。このプロジェクトがうまく成功して、米国、日本にも導入することになりました。ロンドンには、1999年から2001年まで滞在し、休みの日にはスコットランドやヨーロッパの他の国にも旅行に行きました。中でもスコットランドのウイスキーはとても印象的でした。蒸留所は、風光明媚なところにあって、貯蔵庫で樽から飲むウイスキーは格別です。ウイスキーは、大麦とイーストと水しか原料はありません。スコットランドの法律でそれ以外の添加物を入れることが禁じられています。熟成する樽の種類、年数、場所によって様々なフレーバー、香りがあります

私は、このウイスキーにハマってしまい、イギリスから帰国後にウイスキーバーを西麻布に開店しました。GRAILというバーで、目黒稻門会の方にも来ていただきました。一度、Longmornという蒸留所の樽を樽ごと購入してオリジナルボトルも作りました。ただ、今は閉店してしまいました。その後、私が転職して、野村證券では副業が禁止されているので、友人に売って、その後2016年に閉店しました。

東京には多くのウイスキーバーがあるので、いろんなウイスキーが楽しめます。

私は、今は野村證券でIT部でファイナンスの会計システムの開発や運用・保守を担当しています。

目黒わが町自慢

洗 足 狩野俊夫（昭和42年 理工）

「洗足」は、品川・大田両区の間に角のように突き出た区境の町で、その地名の由来は、大田区の南・北千束とともに、中世のこの辺り一帯の地名「荏原郡千束郷」の郷名「千束」（千束分の稻が貢祖から免ぜられていた事で名付けられた）の一部の地域が、日蓮聖人が病気療養のため身延から常陸に向かう途中立ち寄った際、ここの大池（洗足池）で足を洗った伝説が流布し、「洗足」と呼ばれる様になった。

洗足の町の発展には鉄道が大変関係している。渋沢栄一は大正4年荏原郡の地主有志より荏原郡一円の開発を依頼され、大正7年田園都市株式会社を設立、交通機関を伴った大掛かりな田園都市計画を策定した。交通機関の他、郵便局、学校、駐在所、公園、医者の誘致、商・住地域区分等、綿密を極め当時としては全くユニークであった。

田園都市株式会社は、大正10年11月に土地の買収を完了、一方、宅地造成は大正10年5月、田園都市耕地整理組合を設立し、洗足地区碑谷村の一部（洗足駅付近）の造成をこの事業組合方式で進めた。これが今の洗足駅周辺地区住宅地である。

大正11年6月、洗足地区第一回土地分譲売り出し始が開始され、3ヶ月前に目蒲線の敷設工事が開始されたことから人気を呼び80%はすぐに予約済みになるという好調な滑り出しを見せた。この鉄道工事の指揮に当たった五島慶太は、田園都市株式会社の鉄道部門の責任者となり、大正11年9月、目黒蒲田電鉄株式会社を創立し現在の目蒲線、大井町線の建設運営に当たり、当初予定していた交通機関はすべて完成を見た。

現在の目黒区洗足、品川区小山、大田区北千束の開発該当地域では相続等により宅地は細分化されているが比較的広い街路、街路樹、生垣等緑の多い閑静な環境は住宅地として良い環境をいまだ保っており、先人達の偉大な功績の御蔭だと感じている。



洗足 プリンセス通りの街路樹

（本記事の全文は、目黒稻門会のHPでご覧頂けます）

目黒の銭湯巡り

大黒湯 山内 宏（昭和56年 教育）

私が住んでいる蛇崩（じゃくずれ…上目黒5丁目界隈）から中目黒に向かう道中（蛇崩・伊勢脇通り）に2軒の銭湯がありました。1軒目は、寿湯さん。蛇崩交差点に隣接しており、こどもの頃から何度も利用させていただき、庶民の銭湯として愛されておりました。残念なことに今年早々に店じまい。今は、コインランドリーのみで営業されております。

さて、今回の銭湯は、もう1軒の大黒湯さん。中目黒から散歩に程よい距離にある創業昭和28年の大黒湯、蛇崩川緑道の緑やそれぞの季節の花々を楽しみながら歩いて向かうのもいい。大黒湯の目印は、創業時からある松の木、それとどこか昭和の香り漂う大黒湯は、懐かしい思い出がよみがえる感がありました。銭湯は、2つの湯船に壁画は富士山。閉店した寿湯とも造りは似ておりましたが、特徴的だったのは木桶と椅子（檜かな）とお湯のコラボレーション、ほのかな香りが致しました。そしてさらに、タイルやガラスは綺麗に整備されておりました。ご主人、女将さんがいかに、この銭湯を大切にしているかが伝わって参りました。お湯かけんは、やはり少し熱めでしょうか。日頃スーパー銭湯ユーザーである私にとっては、熱いなど。でも心地良かったです。入浴後は、こどもの頃これが楽しみだった。コーヒー牛乳を飲むこと。これも試して、小学生時代を追憶しました。消えてゆく東京の銭湯一軒、一軒に歴史がありドラマがあると、つくづく思います。今は、各家庭にお風呂は完備されている中、たまには地元の銭湯に行き、昭和の時代に思いを馳せるのも、いい時間の過ごし方かもしれない。



閉店した寿湯

会員ギャラリー

「天空橋の船留り」

大杉邦雄（昭和40年 法） 水彩画 F4号



天空橋の船留りは、船を係留する木柱が何本も立ち、中々風情のある景色となっている。今年6月初め、光と影を意識しながら約2時間で描き上げた作品である。

新入会員



加瀬裕子(人科学術院 教授)
(目黒区東山在住)

人間科学学術院で老年学を教えております。目黒稻門会の皆様には、シンポジュームの開催など、いつもご支援をいただき感謝しています。早稲田の卒業生ではありませんが、生まれも育ちも目黒区東山です。よろしくお願いします。



小宮山寿美子(平成30年 人科)
(目黒区目黒本町在住)

平成30年3月eスクールを卒業、応用健康科学セミの卒論では、「地域高齢者に於ける運動継続を促す要因分析」として発表しました。25年間の病院看護師を経て平成19年に会社

設立、大鳥神社近くでデイサービスを行っています。また、目黒区より受託の介護予防教室の指導者としても関わらせて頂いております。地域でご活躍の先輩方との交流を深めたく入会しました。よろしくお願い致します。



川崎秀一(昭和45年 法)
(目黒区上目黒在住)
そろそろ仕事にも時間が出来
てリタイヤー後のコミュニテ
ィー作りも必要と感じていま
す。地域との結びつき、そし
て同窓の結びつきが大事と考
えています。

新家族会員(敬称略)：古矢英美子、市川正美

校友会便り

会員の皆さんに購入していただいた稻門祭記念品の総額は222,000円となりました。売上は全て母校で学ぶ学生の奨学金となります。その内訳です。

- ・ウインドジャケット 10千円×8
- ・有田焼 10千円×4
- ・ネクタイ 4千円×4
- ・コロン 4千円×3
- ・扇子 2千円×4
- ・歯ブラシ 2千円×1
- ・多機能ペン 2千円×25
- ・今治タオルハンカチ 2千円×3
- ・ゴルフボール 2千円×7

2,000円につき1枚の抽選券が配布されます。10月21日の稻門祭当日、早稲田キャンパスで抽選が行われますので、楽しみにしていてください。
ご協力ありがとうございました。

(笠谷 記)

江戸ミニエッセー 寿司の話

また江戸のお話を少し。華屋与兵衛という和食チェーンがありますが、これは実在の人物です。文政年間(1818~30)に江戸で初めて寿司屋の店舗をかまえた人です。それまでは、握り寿司は屋台で売られていました。与兵衛は寿司屋の前は花屋を営んでいたとの説もあります。当時のネタはエビ、コハダ、タコ、イカ、たい、穴子、玉子巻くらいだったようで、現代のようにマグロは食べられていませんでした。値段はひとつが四文~十文(120円~300円)ですが、大きさは現代の倍くらいあったそうです。

(猪名川 記)